

## 2013年度 国際交流基金地球市民賞 授賞式・レセプションのご案内

3月28日(金)18:30～ 国際交流基金 JFICホール[さくら](新宿区四谷)にて開催

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、国際文化交流を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、相互の知恵やアイデア、情報を交換し、ともに考える団体に「国際交流基金地球市民賞」を授賞しています。

2013年度は、過去最高の136件の推薦・応募があり、選考の結果、下記の受賞団体を決定、以下の概要で授賞式・レセプションを開催いたします。ご多忙の折恐縮ですが、本件是非ともご取材賜りますようお願い申し上げます。



**【日時】**：2014年3月28日（金）18：30～21：00（受付開始18:00）  
**【会場】**：国際交流基金（東京都新宿区四谷4-4-1）  
**【地図】**：URL：<http://www.jpff.go.jp/j/about/outline/contact/map.html>  
**【式次第】**：

＜授賞式：18:30～19:30 JFICホール [さくら]＞

理事長挨拶：国際交流基金 理事長 安藤 裕康  
選考過程報告  
賞状・副賞 贈呈  
受賞団体活動プレゼンテーション／受賞の言葉

※2013年度受賞団体：（以下50音順、敬称略。各団体の詳細は後頁ご参照）

- 多言語社会リソースかながわ（神奈川県横浜市、理事長：松野 勝民）  
まつの かつみ
- BankART1929（神奈川県横浜市、代表：池田 修）  
いけだ おさむ
- 雪合戦インターナショナル（北海道有珠郡壮 警 町、理事長：松本 勉）  
まつもと つとむ

＜レセプション：19:40～21:00 JFICスペース [けやき]＞

以上

※ご多用中の折、誠にお手数ですが、会場準備の都合上、3月27日（木）までにご出欠、必要事項をご記入の上、メールかFAXにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 情報センター（菅野、宮田）  
Tel: 03-5369-6075 / E-mail: [chikyushimin@jpf.go.jp](mailto:chikyushimin@jpf.go.jp)  
●広報用画像・取材に関するお問い合わせ： 日本パブリックリレーションズ研究所（横田、棚瀬、高野）  
Tel: 03-5368-0911 / FAX: 03-5269-2390 / E-mail: [japanfoundation@japan-pri.jp](mailto:japanfoundation@japan-pri.jp)

<国際交流基金地球市民賞について>

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）では、1985年に「国際交流基金地域交流振興賞」を創設して以来全国各地で地域に根ざした先導的な国際文化交流活動を行っている個人や団体を顕彰してきました。その後2005年に現在の「国際交流基金地球市民賞」という名称に改定し、国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデア、情報を交換してともに考える団体を支援しています。

<2013年度 地球市民賞受賞団体について> \*以下50音順



■受賞団体1：特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ

【活動概要】

外国籍住民支援活動の中でも、多言語による医療通訳者を神奈川県下の60の医療機関と提携して派遣、また、そのコーディネートを行っている。派遣数は年間4,000件、派遣要請は一日平均約20件。現在、通訳者数は162名おり、11言語（中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国朝鮮語、タガログ語、英語、タイ語、ベトナム語、カンボジア語、ラオス語、ロシア語）で対応している。医療通訳者の約4割は外国出身であり、日本語を学び、また母語も活かしバイリンガルのボランティアとして自らが生活する地域社会へ貢献している。同法人は、全国に先駆けて、多言語による医療通訳派遣のコーディネートや組織化に取り組み、全国の地方自治体や国際交流協会からの医療通訳研修等への講師派遣依頼も数多く受け、先進的事例となっている。

ばんかーといちきゅーにーきゅー

■受賞団体2：特定非営利活動法人 BankART1929

BankART1929

【活動概要】

横浜市が推進する文化芸術による中心市街地活性化政策のプロジェクトの一環として、歴史的建造物を改修したアートセンターの運営やアートと市民をつなぐ様々なイベントや展示を行う。また国際会議や調査出版、アーティスト・イン・レジデンス事業、大野一雄フェスティバルを通して国内外のアートスペースとのハブとしての機能も担ってきている。また江戸時代に朝鮮半島から通信使が派遣されていた歴史的事実を踏まえ、文化を通じた日韓市民交流事業として2009年より「続・朝鮮通信使プロジェクト」を企画・運営し、日本と韓国の両国において多彩な事業を展開している。さらに今年は横浜トリエンナーレとの特別連携予定となり、また横浜市が東アジア文化都市に選出されたため、東アジア全体への活動の広がりが期待される。

■受賞団体3：特定非営利活動法人 雪合戦インターナショナル



【活動概要】

雪合戦の競技ルールづくり、用具の開発、スポーツ競技としての大会開催のほか、海外への普及活動を行う。人口2,700人という過疎・少子高齢化の壮瞥町の町民が一体となり大会を開催することで、地域の活性化に繋がっている。さらに、海外への普及活動にも力を入れ、現在、海外の三大陸、9カ国（スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、ベルギー、ロシア、オランダ、カナダ、アメリカ、オーストラリア）で、「YUKIGASSEN」と呼ばれ愛好されている。雪合戦大会（昭和新山国際雪合戦）には、1991年には香港から初の海外チームが参戦、1995年に海外初の雪合戦大会がフィンランドで開催、2006年から3年にわたり東アジア大会を開催。更なる普及活動強化のため、NPO法人雪合戦インターナショナルを設立し、一昨年には、国際的な総括組織として活動をしていくため10カ国で構成する「国際雪合戦連合」を設立。これまでの外国人の参加者数は、69カ国602名。

**FAX 送信先:03-5269-2390**

**【ご出欠確認票】**

**国際交流基金地球市民賞 広報事務局**  
**日本パブリックリレーションズ研究所内 横田、棚瀬行**  
**授賞式  ご出席 ・  ご欠席**  
**レセプション  ご出席 ・  ご欠席**

ご多用中の折、誠にお手数ですが、会場準備の都合上、3月27日(木)までにご出欠、必要事項をご記入の上、メールかFAXにてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

- 日時 2014年3月28日(金) 18:30~21:00 (受付開始 18:00)
- 会場 国際交流基金 (東京都新宿区四谷4-4-1)
- 地図 東京メトロ 丸ノ内線 四谷三丁目駅 1番出口 徒歩3分  
 URL: <http://www.jpf.go.jp/j/about/outline/contact/map.html>

|         |  |
|---------|--|
| 撮影      | 希望する <input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> スチール |
| 貴社名/ご所属 |  |
| 貴媒体名    |  |
| ご芳名     | (計 名)  |
| TEL/FAX |  |
| Eメール    |  |
| 通信欄     | [インタビューや取材のご希望がありましたら、ご連絡下さい]                                    |

●取材依頼、表彰式・会見に関するお問い合わせ:  
 国際交流基金地球市民賞 広報事務局日本パブリックリレーションズ研究所 (横田、棚瀬、高野)  
 Tel:03-5368-0911 / FAX: 03-5269-2390 / E-mail:japanfoundation@japan-pri.jp